

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名	担当部課室	産業労働部 労働雇用政策課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興	
戦略プログラム	働く人応援プログラム	
施策名	【重点】若者の県内定着を進める就職支援	

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	内容	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	45.3	46.2	47.1	48.0
現況値	44.4% (2016~2019年度の平均)	実績値	45.0	43.1		
目標値	48.0%	達成率	99.3%	93.3%		
備考		達成度	3	3		

指標名	内容	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	34.5	34.0	33.5	33.0
現況値	34.9% (2019年度)	実績値	33.4	36.1		
目標値	33.0%	達成率	※103.3%	※94.2%		
備考		達成度	4	3		

3 関連する事業名

- ・おかやま若者就職支援センター運営事業
- ・ニート脱出応援事業
- ・晴れの国おかやま！J Uターン就職応援事業
- ・おかやまインターンシップ推進事業
- ・おかやま就活サポート事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

- ・おかやま若者就職支援センターにおいて、カウンセリングや面接指導等により若者の就職支援を行った。
- ・地域若者サポートステーションにおいて就業体験や訪問相談等を行い、若年無業者の職業的自立を支援した。
- ・県内経済団体等に対し、正規雇用の促進や人材育成など、若年者雇用に関する働きかけを行った。
- ・大学生の就職を支援する専任コーディネーターを配置し、学生に寄り添った支援を行った。
- ・労働局や大学等と連携し、合同企業説明会(3月)や合同就職面接会(7月、11月、2月)を開催した。
- ・インターンシップ実施企業と学生のマッチングイベント、Webカメラによる職場見学ツアー等を開催した。
- ・県内企業の若手社員が学生の就活相談に応える「おかやま就活サポーター制度」を開始した。

6 今後の施策推進に向けての課題

- ・おかやま若者就職支援センター、大学生の就職を支援する専任コーディネーター等により、若者の就職を丁寧に支援する。
- ・若者の正規雇用や長期定着のため、県内経済団体等に対して働きかけを続けていく必要がある。
- ・県内企業の魅力発信、入社後のミスマッチを防いで長期定着を図るため、県内大学と連携して、学生のインターンシップ参加を促進する。
- ・岡山県内で働く魅力を学生に伝え、県内就職に結びつけるため、おかやま就活サポーターの利用を促進する必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名	担当部課室	産業労働部 労働雇用政策課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興	
戦略プログラム	働く人応援プログラム	
施策名	【重点】県内企業の発展を担う人材の還流・定着の支援	

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	県内大学新卒者の県内就職率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	45.3	46.2	47.1	48.0
現況値	44.4% (2016~2019年度の平均)	実績値	45.0	43.1		
目標値	48.0%	達成率	99.3%	93.3%		
備考		達成度	3	3		

指標名	大学卒業者の3年以内離職率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	34.5	34.0	33.5	33.0
現況値	34.9% (2019年度)	実績値	33.4	36.1		
目標値	33.0%	達成率	※103.3%	※94.2%		
備考		達成度	4	3		

指標名	本県出身の県外大学新卒者のUターン就職率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	37.5	38.0	38.5	39.0
現況値	37.1% (2016~2019年度の平均)	実績値	33.7	34.5		
目標値	39.0%	達成率	89.9%	90.8%		
備考		達成度	3	3		

3 関連する事業名

- ・おかやま就職応援センター事業
- ・東京23区からのIJUターン就職支援事業
- ・晴れの国おかやまIJUターン就職応援事業
- ・ふるさと岡山就職支援事業
- ・おかやまインターンシップ推進事業
- ・おかやま就活サポート事業
- ・建設産業人材確保・定着促進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<ul style="list-style-type: none"> ・おかやま就職応援センターにおいて、県内企業と求職者双方のニーズ等を踏まえてマッチングを行った。 ・県内中小企業の求人掲載するマッチングサイトの運営とともに、移住支援金を支給する市町村を支援した。 ・IUターンにより入社した社員の奨学金返還を支援する企業に対して、支援を行った。 ・インターンシップ実施企業と学生のマッチングイベント、Webカメラによる職場見学ツアー等を開催した。 ・県内企業の若手社員が学生の就活相談に応える「おかやま就活サポーター制度」を開始した。 ・土木・建築系学科の高校2年生を対象とした建設産業の経営者や若手従業員等との意見交換会（おかやま建設企業ライブ）等を実施した。

6 今後の施策推進に向けての課題

<ul style="list-style-type: none"> ・おかやま就職応援センターにおいて、引き続き丁寧にマッチングを行い、県内企業の人材確保を支援する。 ・県内中小企業の求人掲載するマッチングサイト「晴れの国で働こう！岡山県しごと情報サイト」の求人掲載増、掲載企業のフォローアップ等に取り組む必要がある。 ・インターンシップや各種就職関連イベントを通じ、学生のIUターン就職を促進するため、就職支援協定締結大学をはじめとする県外大学との連携を強化する必要がある。 ・岡山県内で働く魅力を学生に伝えるため、おかやま就活サポーターの利用を促進する必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 労働雇用政策課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	働く人応援プログラム		
施策名	【重点】意欲や能力に応じて活躍できる働き方の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	1人当たり年間総実労働時間	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,735	1,718	1,701	1,684
現況値	1,771時間(2019年)	実績値	1,735	1,728		
目標値	1,684時間	達成率	100%	※99.4%		
備考		達成度	4	3		

3 関連する事業名

・働き方改革推進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

ポストコロナを背景として、多様で柔軟な働き方をテーマにフォーラムを開催するとともに、県内企業におけるテレワーク等の働き方改革の取組を促進するため専門家派遣を実施した。また、仕事と家庭の両立支援を紹介するガイドブックを作成した。

6 今後の施策推進に向けての課題

誰もがライフステージに応じて能力を十分発揮でき、働きやすい環境づくりを推進する必要があることから、引き続き、ポストコロナの新しい日常に対応した多様な働き方に応じた取組を支援していく必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 人権・男女共同参画課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	働く人応援プログラム		
施策名	【重点】男女の均等な雇用機会等の確保と女性の活躍推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	女性の生産年齢人口に対する常用労働者の割合	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	61.3	62.3	63.5	64.7
現況値	62.4% (2019年)	実績値	64.1	64.4		
目標値	64.7%	達成率	104.6%	103.4%		
備考		達成度	4	4		

3 関連する事業名

- ・おかやま☆女性活躍☆生き生きパッケージ事業
- ・女性就職応援事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>・企業の実務担当者等を対象にした研修会を開催し、男女共に働きやすい職場環境づくりを進める中核人材を育成するとともに、企業の求めに応じて中小企業診断士等の専門家を派遣し、女性活躍や働き方改革に向けた取組をサポートするアウトリーチ型支援を行うなど、企業における男女共同参画の正しい理解の普及促進や課題解決の支援に取り組んだ。</p> <p>・社会で活躍する女性（ロールモデル）と将来に不安を抱える女性との交流会や、男性の家庭生活への参画を促進するための事業を実施するなど、女性が活躍できる社会の実現に向けた意識の醸成に取り組んだ。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>・企業の男女共同参画の取組を一層促進するため、事業成果の横展開を進めていく必要がある。</p> <p>・引き続き家庭や社会における男女共同参画の意識の醸成を図りつつ、実践的な行動に結び付けていく必要がある。</p>
--

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 労働雇用政策課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	働く人応援プログラム		
施策名	【重点】外国人材の活躍支援		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	県内大学留学生の県内就職率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	10.5	11.0	11.5	12.0
現況値	10.1% (2015~2018年度の平均)	実績値	15.1	13.4		
目標値	12.0%	達成率	143.8%	121.8%		
備考		達成度	5	5		

3 関連する事業名

- ・留学生等就職支援事業

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<ul style="list-style-type: none"> ・留学生を対象に、日本のビジネスマナーや就職活動の進め方等を学ぶ就職支援セミナーや、県内企業との交流会を開催した。 ・外国人材の受入れを希望する県内企業を対象に、法的手続き等の周知を行うセミナーを開催した。
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの留学生がセミナー等に参加し、県内企業の魅力を知ることができるセミナー等とする必要がある。 ・外国人材の受入れを希望する県内企業が必要とする情報を周知できるセミナーとする必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 労働雇用政策課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	働く人応援プログラム		
施策名	【推進】高年齢者の就業支援		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	70歳以上まで働ける企業割合	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	32.3	33.2	34.1	35.0
現況値	30.5% (2019年)	実績値	39.2	41.6		
目標値	35.0%	達成率	121.4%	125.3%		
備考		達成度	5	5		

3 関連する事業名

- ・高年齢者就職促進事業
- ・生涯現役就業促進事業
- ・高年齢者就業確保措置推進事業

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

シニア就業サポートデスクでの就職相談事業などの岡山県生涯現役促進協議会の実施事業や、高年齢者の就業確保措置の普及に向けた専門家による説明会の開催や専門家派遣事業の実施等により、高年齢者の就業促進に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

岡山県生涯現役促進協議会において、2021年度から3年間、生涯現役促進地域連携事業に取り組んでおり、これまでの事業成果の県内市町村への普及を図るほか、就業確保措置の普及、シルバー人材センターへの支援等、引き続き高年齢者の就業の促進に取り組んでいく必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名	担当部課室	産業労働部 労働雇用政策課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興	
戦略プログラム	働く人応援プログラム	
施策名	【推進】障害のある人の就労支援	

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	民間企業における障害者の実雇用率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2.47	2.48	2.50	2.52
現況値	2.45% (2019年)	実績値	2.54	2.54		
目標値	2.52%	達成率	102.8%	102.4%		
備考		達成度	4	4		

3 関連する事業名

- ・ 障害者雇用対策事業
- ・ 障害者就業促進事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

障害者雇用の促進について、岡山労働局等と連携を図り、啓発セミナーの開催や就職準備講習会・就職面接会等の就労の支援を実施した。民間企業における障害者実雇用率は対前年比で同率であったが、法定雇用率を達成した企業割合は54.3%で対前年比で3.2ポイント上昇した。

6 今後の施策推進に向けての課題

令和3年3月からの障害者法定雇用率の引き上げ等に対して雇用の拡大が図られたものの、今後、更に令和6年4月及び令和8年7月に段階的に法定雇用率が引き上げられることから、引き続き、岡山労働局等と連携を図り、障害のある人がその適性と能力に応じて働くことができるよう、各種就労支援に努める必要がある。